

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	ソフトバンク株式会社					
代表者名	氏名	宮内 謙	役職名	代表取締役 社長執行役員 兼 CEO		
主たる事務所の所在地	東京都港区東新橋1-9-1					
主たる事業の分類	大分類	G 情報通信業				
	中分類	37 通信業				
主たる事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動体通信事業およびこれに付随する業務等 ・ 固定通信事業およびこれに付随する業務等 ・ インターネット通信事業およびこれに付随する業務等 ・ 電気通信にかかわる電気通信用品およびシステムの保守、販売 ・ 電気通信に関するソフトウェアの製作および販売 					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	5685	6895	5266	5213	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	11459	13893	10609	10618	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	11		12	12	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	10				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 30 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

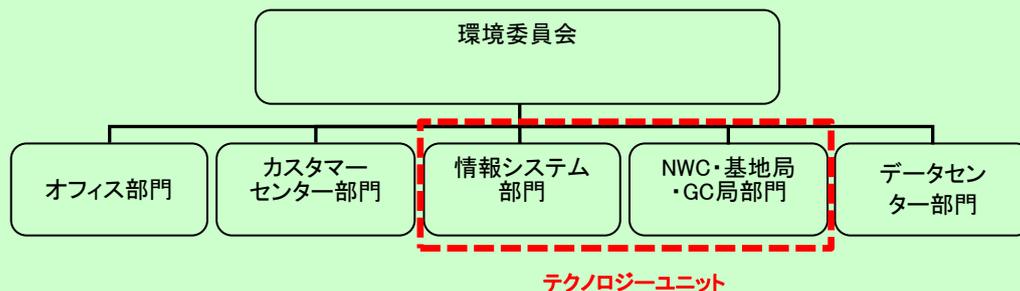
<input type="checkbox"/>	ホームページ	〈掲示・閲覧〉 (場所) 東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング13F (時間) 平日10:00～16:00 (連絡先) CSR統括部CSR部CSR2課 SBMGRP-energy@g.softbank.co.jp
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

私たちは、地球環境の保全が世界共通の重要課題であると同時に、企業市民としてのソフトバンクと、それを構成する私たち社員一人ひとりの責務でもありと考えています。こうした認識のもと、2007年8月に「環境行動指針」を定め、環境保全への体系的な取り組みを推進しています。ソフトバンク株式会社（以下「弊社」という）は、移動体通信事業を通して地球環境の維持・保全に積極的に取り組み、持続可能な社会の継続的発展に貢献します。

- ・弊社は、事業活動の推進において、環境保全に関する諸法規およびその他の要求事項を遵守します。
- ・弊社は、環境マネジメントシステムにより、事業活動における環境負荷を低減して行くため、省エネルギー、省資源、廃棄物削減等について環境目標を設定し、継続的な改善に努めます。
- ・弊社は、事業用機器や物品の調達に当たり、環境にやさしいグリーン調達を推進します。
- ・弊社は、環境負荷低減に資するネットワーキング技術の開発やネットワーキングサービスの提供に努め、社会全体の省エネルギー化に貢献します。
- ・弊社は、社員への環境教育に努めるとともに、弊社の環境に関する情報を社内外へ公表し、コミュニケーションを図ります。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



全社横断組織として「環境委員会」を設置し、これを核としてCO2削減のみならず、環境問題全般に関するPDCAを回すことができる体制を構築しています。

温暖化対策責任者：環境委員会事務局（CSR統括部 CSR部 CSR2課）

計画書提出担当者：CSR統括部 CSR部 CSR2課（環境委員会事務局担当）

5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境委員会（年1回以上開催）

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	11,459	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
28年度	調整後排出量	11,368	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	13,893	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	(21.25)	%	目標削減率	26.00	%		26
目標設定に関する説明	<p>弊社は通信事業者であり、通信設備が主な電力消費設備である。そのため通信設備の電力消費に関連性が深い原単位分母として、ネットワークセンター設備では固定トラフィック (Gbps) またはモバイルトラフィック (Gbps) またはその合算トラフィック (Gbps) を指標とし、基地局では基地局トラフィック (Gbps) を指標とする。またオフィスは延床面積 (㎡)、データセンターはUPS電力 (MWh) を指標とする。これらの設備種類別にCO2排出量を分子、指標を分母として、CO2排出量に基づき寄与度計算をして、基準年度と比較する。</p>							<p>※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する (以下同じ)。</p>
第一年度	排出量	10,609	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	10,436	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	7.41	%	削減率		%		41.7
排出量等の増減理由	<p>今後もサービス向上のために基地局設備の増設を進める予定にしており、エネルギー使用量とCO2排出量は増加が見込まれます。通信業界発展の方向性が業界の原単位指標が変更されたことを受け、基地局及びNWCは通信量であるトラフィック (通信量)、オフィスは延床面積を原単位分母とし、寄与度にて原単位を管理します。増設時、エネルギー効率の高い設備への更新と新設を推進したことにより、原単位での削減を実現しました。</p>							
第二年度	排出量	10,618	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	10,760	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	7.33	%	削減率		%		46.3
排出量等の増減理由	<p>今後もサービス向上のために基地局設備の増設を進める予定にしており、エネルギー使用量とCO2排出量は増加が見込まれます。通信業界発展の方向性が業界の原単位指標が変更されたことを受け、基地局及びNWCは通信量であるトラフィック (通信量)、オフィスは延床面積を原単位分母とし、寄与度にて原単位を管理します。増設時、エネルギー効率の高い設備への更新と新設を推進したことにより、原単位での削減を実現しました。</p>							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	10	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310100 推進体制の整備	2017 ~2019	0	2017 ~2018	0
2	エネ起	310300 計測及び記録の管理	2017 ~2019	0	2017 ~2018	0
3	エネ起	310400 エネルギー使用量の管理	2017 ~2019	0	2017 ~2018	0
4	エネ起	330206 ブラインド、カーテン等の管理	2017 ~2019	0	2017 ~2018	0
5	エネ起	390701 昇降機の運転管理	2017 ~2019	0	2017 ~2018	0
6	エネ起	390702 昇降機の保全管理	2017 ~2019	0	2017 ~2018	0
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	91		173	-142	
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2,801	11,459	2,601	10,609	2,550	10,618		
合計	2,801	11,459	2,601	10,609	2,550	10,618		

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	11	12	12	
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	なし
公共交通機関の利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	なし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に関する社員啓発活動の実施(Eラーニング、ペーパーレス等) ・「COOL CHOICEキャンペーン」の社員への案内および、クールビズ・ウォームビズの推奨実施 ・エネルギー効率の高い設備への更新と新設の推進
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に関する社員啓発活動の実施(Eラーニング、ペーパーレス等) ・「COOL CHOICEキャンペーン」の社員への案内および、クールビズ・ウォームビズの推奨実施 ・エネルギー効率の高い設備への更新と新設の推進
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に関する社員啓発活動の実施(Eラーニング、ペーパーレス等) ・「COOL CHOICEキャンペーン」の社員への案内および、クールビズ・ウォームビズの推奨実施 ・エネルギー効率の高い設備への更新と新設の推進
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー効率の高い設備への更新と新設の推進 ・管理標準の制定とそれに基づく運用 ・室内照明の適切な消灯によるエネルギー削減 	
その他		